京都府 報道発表資料

イベント等のお知らせ

丹後広域振興局資料配付

令和４年 11 月２日

令和４年度丹後塾（第２回）を開催します
～海の京都 DMO のマーケティング戦略に学ぶ～
デジタル社会における事業立案

先進的な取組等を行う企業や自治体等から講師を迎え、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を共通テーマに、既存の発想にとらわれない課題解決を学ぶ全３回のオンライン講座「丹後塾」の第２回目を、下記のとおり開催いたしますので、事前の周知をお願いいたします。

１　日　　時

令和４年１２月１日（木）１４：３０～１６：００

２　場　　所

オンライン（Ｚｏｏｍ）

３　内　　容

オンライン講座　～海の京都ＤＭＯのマーケティング戦略に学ぶ～

デジタル社会における事業立案

11 月７日スタート「海の京都コイン」の取組をＤＸの視点で解説

４　出 演 者

講師：　海の京都ＤＭＯ　マーケティング・ＤＸ専門役　原　康太朗氏

５　参加方法

令和４年 11 月 28 日までに、以下のいずれかの方法で申込（参加料無料）

①　団体申込　　各団体の希望者を取りまとめ、所定の様式をメール送付

【問合先・送付先】　t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

②　個人申込　　京都府 HP に掲載の申込フォームに必要事項を入力

https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1666830801499

６　主　　催

京都府丹後広域振興局

＜参考：令和３年度実施概要＞

官民協働を共通テーマに全３回のオンライン講座を開催し、延べ 113 名が参加。

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府丹後広域振興局企画・連携推進課長　古田

TEL 0772-62-4300

丹後塾

令和4年度

オンライン（全3回）

先進的な取組等を行う企業や自治体等から講師を迎え、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を軸に、既存の発想にとらわれない課題解決を学ぶオンライン講義を全3回で実施。
他県・海外の事例を参考に、丹後に活かせる視点を、官民共に学ぶ場づくりを目指します。

【京都府HP】
https://www.pref.kyoto.jp/tango/ki-kikaku/news/tangojuku2022.html

令和４年 **12月1日（木）　14:30～16:00　（@Zoom）**

海の京都DMOのマーケティング戦略に学ぶ

デジタル社会における事業立案

１１月７日スタート「海の京都コイン」の取組をＤＸの視点で解説

ゲスト

海の京都DMO
マーケティング・DX専門役

原　康太朗 氏

福岡県出身。大学院卒業後、NTTドコモで11年間勤務。経営企画部門でデータ分析業務・新規事業部門でアスリート支援事業の立ち上げ、Jリーグのデジタルマーケティング支援業務などを担当。ドコモ社データを活用したマーケティングによりJリーグチケットの売上げを3倍以上に伸ばした。
2019年に京丹後市に移住。雇用促進を目的にした厚生労働省委託事業のプロジェクトリーダーを担当。京丹後市の創業者や企業の新規事業の伴走支援、女性の働き方をテーマにしたICTセミナー、学生向けに複数企業でのインターンプログラムなどを立案・実行。
2022年4月より海の京都DMOマーケティング・DX専門役として勤務。

モデレーター（全3回共通）

㈱イミカ
代表取締役

原田 博一 氏

神奈川県横浜市出身。1999年富士通入社、2007年より富士通研究所、2017年より現職。
ソフトウェアエンジニアを経て、インタビューやフィールドワーク、ワークショップなどの定性調査手法の研究開発や実践、教育に従事。これらの知見をもとに、コミュニケーションの観点から地域や組織の文脈を把握し、変化や挑戦の伴走支援を行うプロセスコンサルテーションを得意とする。
（一社）サイクル・リビングラボ理事、内閣府地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー。

■参加対象

丹後地域内で勤務する自治体職員、民間事業者、民間企業従業員等（定員100名程度）
※上記に該当しない方でも応募可能です。

■申込方法

令和4年11月28日(月)までに以下のいずれかの方法で申込

①団体申込　各団体の希望者を取りまとめ、**所定の様式をメール送付**
【送付先】t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

②個人申込　**京都府HPに掲載の申込フォーム**に必要事項を入力

主催：京都府丹後広域振興局　　お問い合せ先：企画・連携推進課（t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp）

令和４年度丹後塾（第２回）

令和4年12月1日(木)14：30～@Zoom

「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」とは、企業や自治体、地域などがもつ、様々な事業・活動上の問題（目的）を、デジタルツール（手段）で解決することによって、人々の生活がよりよく変化することをいいます。

つまりDXは、これまでの「IT化」と比べて、デジタルツールがより「直接的に顧客価値に影響を及ぼす」ところが特徴です。

第１回の丹後塾では、ＤＸについてサービスデザインの観点からゲストにお話いただきました。サービスには、前面（利用者が実際に体感するところ）と背面（サービスを間接に支えるところ）があり、サービス開発においては、前面から背面を考える（常に利用者の立場を念頭においてサービスをデザインすること）が重要であることを学びました。

第２回の丹後塾では、より具体的な丹後の事例を通して、ＤＸを学ぶ場にしたいと考えています。デジタルの力をどのように活用し、新たな価値を生み出せるか。令和4年11月7日にスタートする「海の京都コイン」の取組は、「デジタルの力」があるからこそ生み出されたものですが、この事業がどのような視点で企画立案されたのか、事業運営の上でどのような工夫をされているか、どんな新たな価値が生まれる可能性があるのか等を、ゲストに伺います。

第１回に御参加いただいた方も、そうでない方も、お申し込みをお待ちしております。

参加申込

期限：令和4年11月28日(月)

個人申込	エントリーフォームからお申し込みください。 【エントリーフォーム】 https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1666830801499
団体申込	各団体の希望者を取りまとめ、所定の様式をメール送付 【送付先】 t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp ※所定の書式をお持ちでない場合、上記にお問い合わせいただくか、 次の項目をお知らせください。 「所属（法人名・課名等）、職名等、氏名、メールアドレス（※）」 ※メールアドレスは、ZoomのURLの送付先となりますので、お間違いのないようご注意ください。